

南 高 麗 小 唄

作詞 木崎和三郎
作曲 宇津木信男
編曲 原 一 精

1.

若芽めぐんだ 山ふところに
抱かれながらに 咲く山桜
たれに見しょうの
たれに見しょうの

ソレ薄化粧 ソレ薄化粧

月雪花よ 百千鳥
みんな吾物 吾ながめ
都どころか もっとよい風が
吹くよ そよそよ南高麗

3.

裏の山では また栗つぶて
虫が鳴くかよ あのセレナーデ
たれにやろうの
たれにやろうの

ソレ文を書く ソレ文を書く

月雪花よ 百千鳥
みんな吾物 吾ながめ
都どころか もっとよい風が
吹くよ そよそよ南高麗

2.

月を砕いて 流れる小川
蛍飛ぶ夜を 唄うかカジカ
たれに聞かしょうの
たれに聞かしょうの

ソレ作り声 ソレ作り声

月雪花よ 百千鳥
みんな吾物 吾ながめ
都どころか もっとよい風が
吹くよ そよそよ南高麗

4.

窓は小雪の 降るままくれて
春を待つ間の 乙女の胸を
たれの影やら
たれの影やら

ソレ影じゃやら ソレ影じゃやら

月雪花よ 百千鳥
みんな吾物 吾ながめ
都どころか もっとよい風が
吹くよ そよそよ南高麗